

詳細分布調査報告書

大東町の遺跡 I

—春殖・幡屋—

1989年3月

島根県
大東町教育委員会

序

大東町は出雲地方のほぼ中央に位置し、斐伊川水系の支流、赤川と久野川が東から西へと流下して造った沖積地と小盆地が人々の主な居住地となっています。

このような場所が古くから人々の生活の場であったことは、古事記・日本書紀や出雲国風土記をはじめ諸文献によってつとに知られているところですが、その全貌は、今日においても不明なところが多く、時の移るにしたがい、消滅したり、破壊されたり、忘れ去られたりしようとしています。

私達にとって、祖先の生活の営みに光をあててその跡を尋ねることは、單に昔の人々の事績を知ることに止まらず、今後、町の発展を志向する施策の方向づけの要件であり、その解明が急がれています。

この度、昭和63年度から4年次に亘って大東町全域の遺跡詳細分布調査を計画し、国及び県の補助を得て実施する運びになりました。その結果、今年次だけでも数多くの遺跡が発見され、一般に知られることとなる貴重な成果を得ることができました。

この報告冊子が有効適切に活用されて今後の大東町発展に役立つよう念ずると共に、町民各位の文化財保護意識がさらに深まるよう願ってやみません。

この調査にご協力、ご援助いただいた地元の各位に対し、厚く御礼申し上げます。

平成元年3月

大東町教育委員会

教育長 野々村 安生

例　　言

1. 本書は大東町教育委員会が、昭和63年度国・県の補助を受けて実施した大東町春殖・幡屋地区遺跡分布調査の概要報告書である。

2. 調査の体制は次のとおりである。

調査主体者 大東町教育委員会 教育長 野々村安生

調査指導 烏谷芳雄（島根県教育庁文化課文化財保護主事）

蓮岡法暉（八雲村立八雲中学校教頭）

調査担当者 杉原清一（島根県文化財保護指導委員）

調査補助員 藤原友子（飯石郡三刀屋町）

事務局 萩洲 基（大東町教育委員会教育次長）

松田 勉（　　〃　社会教育係長）

狩野 弘（　　〃　社会教育指導員）

嘉木史紀（　　〃　社会教育係主事補）

3. 調査成果は分布図及び一覧表としたほか、個別に調査カードを作製し向後の活用に備えた。なお、遺跡番号は島根県遺跡地図（1987年）によった。

4. 収録した遺跡のうちには既に消滅したものも含む。また古墳は石塔に着目して調査を行った。

5. 分布調査は踏査によるもので、地表の表微觀察であり、埋蔵文化財のすべてが網羅されているとは言えない。従って分布図上の空白地でも将来発見されることが有り得る。

6. 踏査にあたって明治22年編成の字切地図（大東町行政文書）による小字地名及び口綽伝承等も参考とした。また次の方々をはじめ多くの方から協力や情報の提供を受けた。

記して謝意を表します。

春殖・幡屋地区各自治会 加茂町教育委員会

大東町税務課 農林土木課

7. 本書に用いた地図は主として大東町農林土木課所管に関わる地形図であり、上方が原則として真北を示す。

8. 本書の編集・執筆は調査者が行った。

目 次

大東町春殖地区・幡屋地区遺跡分布図	
大東町春殖地区・幡屋地区遺跡一覧表	7
Ⅰ. 遺跡の分布概況	10
1. 春殖地区 —— 大字飯田・養賀・大東下分・山田・細飼 ——	10
2. 幡屋地区 —— 大字遠所・幡屋・仁和寺・前原 ——	12
Ⅱ. 主な遺跡	14
1. 縄文時代遺跡	14
2. 古墳時代遺跡	14
3. 中世の城砦	17
4. 中世の古墓 —— 五輪塔・宝鏡印塔 ——	20
小字地名一覧	23

図版

遺 跡 数 一 覧 表

春殖地区

※うち()は既知遺跡数

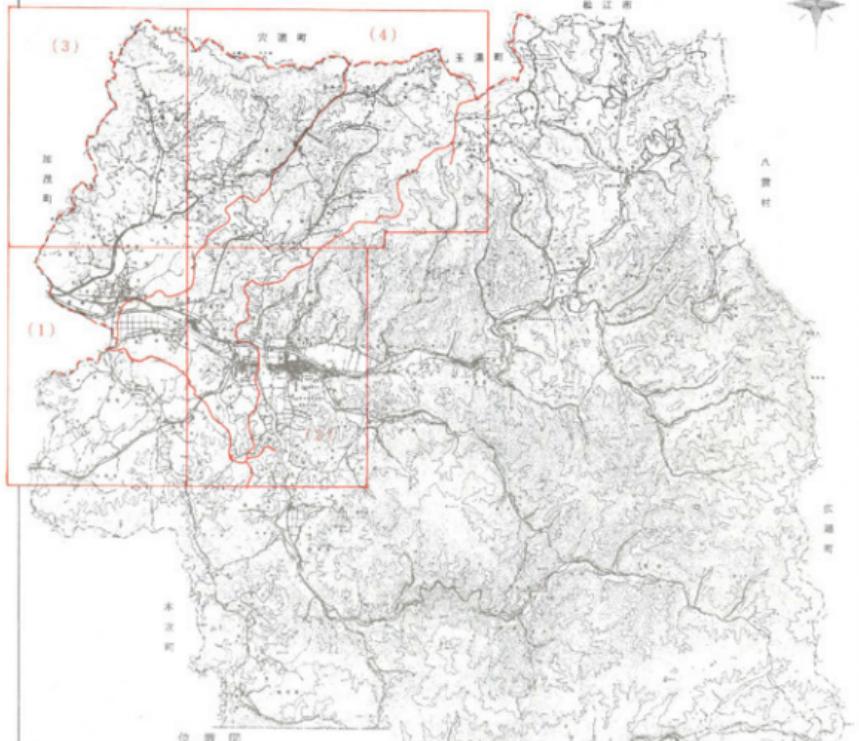
	散布地	古墳・構穴	城 砦	古 墓	生産遺跡	寺院跡	その他の	計
飯 田	2	1	2	1				6
養 賀	1	3 (3)	1 (1)	1				6 (4)
大東下分	3 (1)	3 (1)			1			7
山 田	2	2	2	4 (1)	2			12 (1)
細 飼	2 (1)	3			6			11 (1)
計	10 (2)	12 (4)	5 (1)	6 (1)	8			41 (8)

幡屋地区

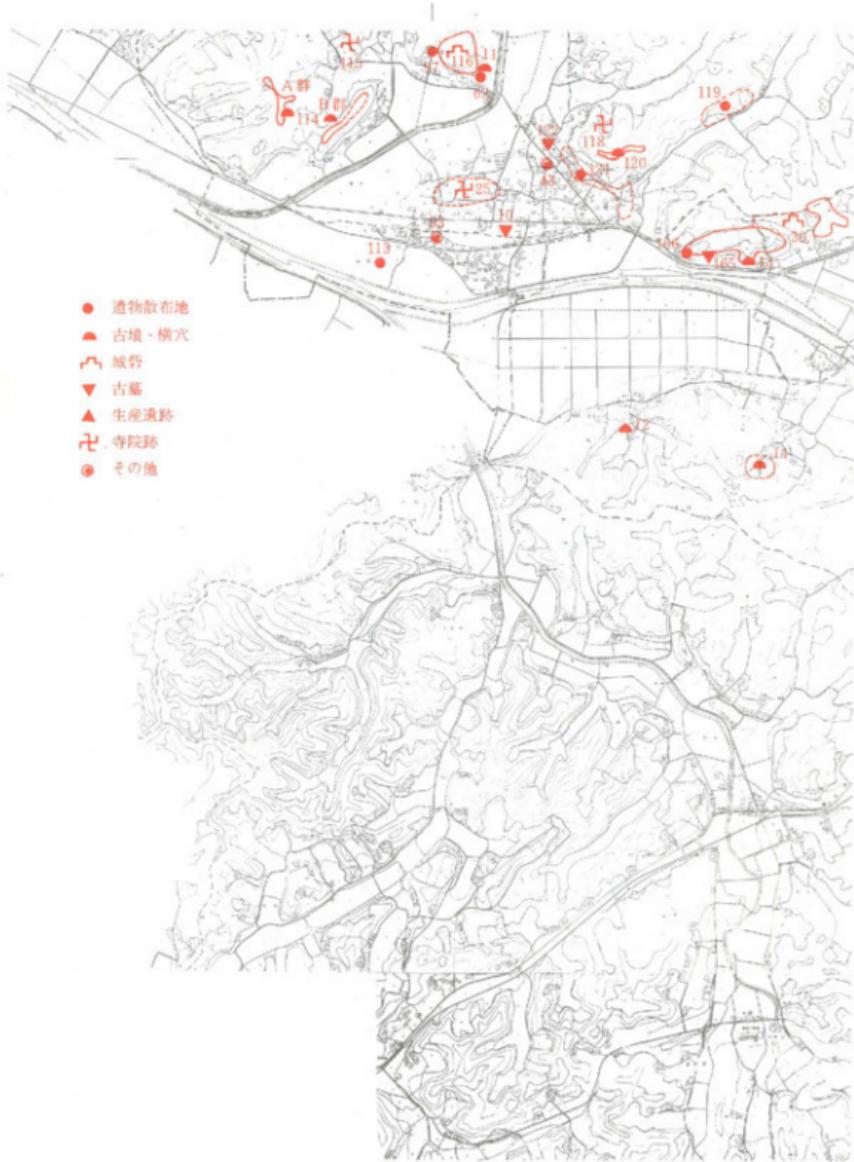
遠 所		1 (1)		2	3	2 (1)		8 (2)
幡 屋		2 (2)	2 (1)	5	3			12 (3)
仁 和 寺	5 (1)	4 (1)	3 (1)	2 (1)		3 (1)	1 (1)	18 (6)
前 原	1		-				1 (1)	2 (1)
計	6 (1)	7 (4)	5 (2)	9 (1)	6	5 (2)	2 (2)	40 (12)

大東町管内図

0 8km



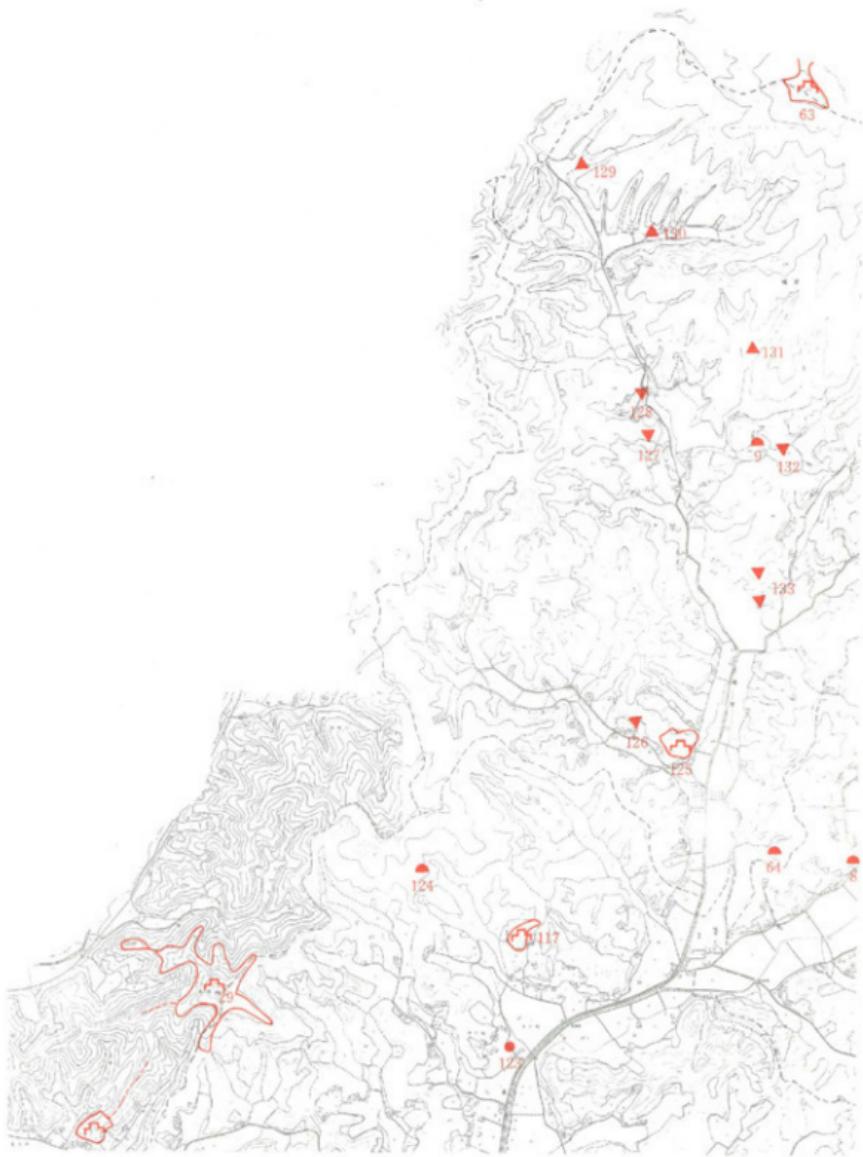
仁
多
町



分布図（1）



分布図（2）



分布図（3）



遺跡一覧表

春日地区

大字飯田

番号	種別	名 称	所在地(字)	現 況	概 情 況
167	散 布 地	西迫遺跡	西迫	畠	須恵・土師片散布
170	・	岩広遺跡	岩広	タ	岩田氏宅裏 須恵・土師片散布
171	横 穴 ?	岩広横穴?	岩広	タ	消滅 かつて須恵器出土
93	城 壁	奥明治跡	奥明・他	山林	200×70m 物見郭と前方の腰曲輪
169	・	八幡山砦跡	稻田	公園	砦遺構は破損 八幡を祀る・古墓あり
168	古 墓	西方寺の宝鏡印塔	寺ノ上	墓地	春人宝鏡印塔 伝飯田城主の墓

大字養賀

166	散 布 地	岩熊遺跡	岩熊	畠	須恵・古式土師片散布
12	古 墳	稗迫古墳	稗迫	畠・墓地	明治年間発見損壊 小円墳か 刀・須恵器出土
13	横 穴	岩熊横穴	岩熊	山林	明治年間道路建設にて破壊 勾玉・須恵器出土とか
14	・	堂迫横穴群	堂迫	タ	稚頭神社付近 3穴開口、後に1穴あるか 須恵器等
30	城 壁	岩熊城跡	岩熊・大字大東下分	山林・畠	字前を挟んで東西2群構成 馬場・殿屋敷・堀切り等
165	古 墓	岩熊の五輪塔	岩熊	畠	城跡南麓 5基以上あり

大字大東下分

57	散 布 地	馬田寺遺跡	吉成院・堂ノ前・他	畠	馬田寺住宅及びその付近 土師片散布 寺跡地名あり
161	・	下ノケ市遺跡	下ノケ市	タ	旧春穂小学校地裏 土師片散布
163	・	家原遺跡	堂原	タ	土師片散布 建物跡も残存か
56	横 穴	針江横穴	高畦	鶴舎	旧中学校造成で発見・消滅 須恵器等出土
162	・	大井横穴群	大井	山林	2群あり 西1穴開口 南落込みあり、4穴あるか
164	古 墳	上入塚古墳	上入塚	タ	直径5m高さ1m 小塚 墓部に神木あり 古墳か?
160	生産遺跡	大成たら跡	大成	畠	山寄りの畠に若干の鉄滓を認む

大字山田

152	散 布 地	天場遺跡	天場	畠	松尾明神碑前 丹彩土師片散布
159	・	折坂遺跡	折坂	タ	田路下の畠 須恵・土師片散布
153	横 穴	十五田横穴	十五田	山林・道	畠への小路に1穴落込み 他にもあるか 付近で鹿糞土
157	・	城ノ越横穴	城ノ越	山林	城ノ越軒の南山腹 田路に古くから1穴開口
151	城 壁	鍋追砦群	鍋追・大殿屋敷	山林・畠	坪ノ内蔵・大殿屋敷跡・鍋追跡の3群構成 地名に「万所」
156	・	城ノ越砦跡	城ノ越	山林	簡単な物見台 頂部に牛荒神祀る 堀切り部は現道路
61	古 墓	草尾坂古墓	草尾	タ	墓石塚及び五輪塔 中世の古戦場
154	古 墓	十五田の五輪塔	十五田	荒畠	3基以上の塔の残灰

155	古 葩	仲家ノ上の五輪塔	十五田	山林	多数集積 付近の小段は古墳か
158	タ	尺井五輪塔	尺井	タ	7基以上の塔の残存集積 或ノ滅絶跡関係か
149	生産遺跡	数ヶ畠たら跡	数ヶ畠	畠・他	遺構不明 鉄滓散布 後背山腹に金屋子神木
150	タ	足水たら跡	足水	水田	鉄滓散布 園場整備により消滅か

大字畠輪

85	散 布 地	平床遺跡	平床	畠	縄文時代 鋼鐵石石礫・剝片多数出七
148	タ	川内神社遺跡	宮ノ奥	山林	局部麻製石斧 2点採取
144	古 葩	鶴社下タ五輪塔	竹ノ下・宮ノ下	畠	付近の畠地から出土・多数集積 白粉石製もあり
145	タ	堂ノ脇上へ五輪塔	堂の脇	山林	金屋子小祠の脇に集積あるいは埋没
147	タ	東福寺の宝塚印塔	東福寺	雜	大型印塔1基 塔身を欠く
140	生産遺跡	瀧ノ尻たら跡	瀧ノ尻	水田	近世たらか 鉄滓・鋤片多数散布 園場整備で消滅
141	タ	芦谷たら跡	鋤	山林・畠	かつて鉄滓散布 確認不確
142	タ	カナクソたら跡	カナクソ	水田	大塊鉄滓あり 園場整備で消滅か
143	タ	金穴内たら跡	金穴内	畠	鉄滓あり 道路改良等により消滅か
146	タ	鉢追たら跡	鉢追	水田	湯湯状況あり 園場断面に機上面わずかに残存
172	タ	金堀り鐵治跡	金堀り	山林	江戸後期 鉄治注釈跡付近から培土出土

幡屋地(×)

大字遠所

8	横 穴	ナマシ岩横穴群	ナマシ岩	山林	大正平中発掘 5穴以上あり 3穴断続 頭息窓・蓋環・人骨
134	古 墓	一乗寺向の宝塚印塔	八十	タ	1対の塔 供養塔か
139	タ	一ノ瀬五輪塔	一ノ瀬	タ	墓地上の山腹にあり 白粉石製
136	生産遺跡	東ケ谷製鉄跡	東ケ谷	山林	たら跡3所・鐵治跡1所 いずれも林道にて破損 一部断面露呈
137	タ	金クソたら跡	金クソ	山林	小崖に鉄滓堆积認め 遺構残存か
138	タ	越木谷たら跡	越木谷	荒畠	鉄滓散布 畑造成で消滅か
65	寺 院 路	八十山寺院跡	八十	山林	山頂の寺跡 3段の削平地 多道遺構 地藏尊を祀る
135	タ	伝・乗寺旧跡	八十家ノ平	畠	遺構消滅か 無縫塔あり 磨石種のものあり

大字惣屋

9	横 穴	宮内谷横穴群	元見堂	畠	大正平中発見 ‘地下に穴あり。’といふ さらに数基あるか
64	タ	深が坪横穴	深坪	タ	開墾によって発見・消滅 人骨・蓋石出土 現地確認不能
63	城 壁	丸倉山城跡	丸倉	山林	山城の城 連移 さらに北(大通明城)へ繋ぐ 脊留壁し崩部公認化
125	タ	岡田上柴跡	岡田	タ	上郭と腰曲輪 脊切り 上臺 木戸跡? 保存良好
126	古 墓	竹ノ下古墓	竹ノ下	畠	岡田上柴跡の純地 五輪塔・印塔片多数
127	タ	天場古墓	天場	山林	印塔2対 他

128	タ	金穴内の宝塼印塔	金穴内	畑	1基 道路工事で発見し移転 家の牆 付近より集積 印塔4基以上・他
132	古 葬	元見堂古墓	元見堂	山林	本堂脇に大型五輪塔1基 秋葉社脇に大型印塔(寛永5年)1基 ともに近世作
133	タ	大用寺の石塔	秋葉山・大用寺	境内	
129	生産遺跡	西谷釜ヶ谷たら跡	釜ヶ谷	水田	わずかに鉄滓検出 畠場整備で破損か
130	タ	大ヶ原たら跡	大ヶ原	畑	宅地に隣接 鉄滓散布 遺構不明
131	タ	金糞塚たら跡	金糞塚	水田	鉄滓散布 中心地点未詳

大字仁和寺

62	散 布 地	穴ノ前遺跡	穴ノ前	畑	門見堂の脇 弥生土器片出土
97	タ	法雲寺遺跡	法雲寺	境内	参道工事で発見 上層器・土師質土器包含層あり
119	タ	大多和遺跡	市右エ門屋敷 タブノ木以後	畑・田 ・山林	昭和63年発掘調査 上層器・須恵器多数出土
121	タ	仁和寺東遺跡	東出・諏訪山・ トウアミ・ケ市・他	畑	諏訪社麓一帯 土師・須恵器散布 一部ケ市地区発掘調査(昭和63年)
123	タ	竹崎遺跡	竹崎	タ	丘陵の畑 須恵・土師細片散布
11	タ	穴ノ前横穴	穴ノ前		古く開口のち消滅 1穴のみか?
114	古 墳	高塚古墳群 A群	高塚	山林	円墳1・2・3・5号 � 径10~16m 方墳4号 径12m 接線土
		タ B群	開地 栗坪	タ	方墳1~3号 8~12m 接線土 他にも存在か
120	タ	諏訪神社古墳群	諏訪山	タ	神社上の山陵 円墳1~4号 径5~9m 水頭地・愛宕社地も古墳か
124	タ	岩根元宮古墳	岩根	タ	元宮地 横穴式石室後半部残存
29	城 壁	高麻城跡	高サ・他・加茂町	タ	独立山頂と5方向の尾根上 大部分は御陵町城
116	タ	法雲寺脇跡	法雲寺・他	タ	丘陵頂部 物見柵
117	タ	妙見寺脇跡	宮ノ谷	タ	稜曲輪・敵照り・土塁・堀切り・塹あり
10	古 葬	小丸子山古墓	小丸子	墓地	狹長な車郭 妙見堂あり 物見曲輪か
					龜入印塔・五輪塔多數 マウンド状
					高麗城攻めの死者の塚とも
122	タ	徳藏寺の五輪塔	徳藏寺	宅地	宅地改修で出土 地輪を欠く 印塔片もあり
115	寺 院 路	長泉寺跡	長泉寺	畑・竹林	遺構不明 消滅か 竹林に古墳ありとし
25	タ	尼妻都新造院推定地	大五輪・湯屋原・他	畑・他	木郭 東西の堂の間の畠地あたりか
118	タ	十輪寺跡	十輪寺	畑	上層細片 五輪塔片あり 磐石ありとし 畑3段
43	官 衛 路	大原郡家推定地	郡垣	タ	石碑あれど遺構未詳

大字前原

113	散 布 地	板屋原遺跡	板屋原	水田	田畠高地の畑 須恵器出土 畠場整備で消滅か
53	官 衛 路	大原郡家推定地	上居	畑	石碑あれど遺構未詳

I 遺跡の分布概況

1. 春殖地区

大字飯田

この地域では古墳時代以降の遺跡が認められた。丘陵の畠地となっているあたりに土器の細片が散布（西迫・岩広）し、また土器出土の状況から横穴墓のあったことが想定されるところ（岩広）もある。しかし平坦部については出雲大東駅や町並みの拡張のため遺跡は発見できなかった。

中世の造構としては字奥明の砦跡があり、麓に『竹ノ下』、『土居』など関連の地名が残っている。また平家伝説のある八幡山も砦跡と想定されるが、後世の改変が大きく旧状は知ることができない。丘陵上には古墓がある。また、古刹西方寺隣接には立派な龕入宝篋印塔があり、中世末ごろの有力者の存在が窺われる。

大字養賀

赤川南側の丘陵端には稗追古墳や堂迫横穴群がある。当然麓には遺物の散布するところもあると思われるが発見できなかった。赤川の北では岩熊横穴が知られており、少し離れて畠地に土器片の散布するところ（岩熊遺跡）があった。

中世では、岩熊城跡とその麓の古墓などが注目される。なお『雲陽誌』に『古城』、とあるのは大字飯田との界にある奥明砦跡を指すものと思われる。

なお、赤川南の一帯には寺社関係の小字地名が多数あるが、現地では宅地等となっており造構は明らかでない。

大字大東下分

馬田寺住宅団地付近はかなり広く土器片が散布している。団地造成によって大部分は消滅したが、土器片が多数出土したことであり、地名の由来する中世馬田氏の氏寺関係のみではなく、古代から集落が存在したと考えられる。支流山田川沿いに北へ入った『下ノケ市』、『堂原』などの丘陵地にも土師器片の散布地があり、『高畦』や『大井』の丘陵には横穴墓が所在する。『上人塚』の土盛りは古墳か中世の塚であるのかは判断できなかった。

中世の著名な城である岩熊城跡は、西の郭群は上記の大字養賀に属するが、東側丘陵上の郭群と大堀切りなどは大東下分に属し、東西二群で構成されている。丘陵には古墓もみられる。

春殖神社北方の字大成（畠地）では、南面する山裾部に若干の鉄滓が散布したが、たた

ら炉の位置は判らなかった。

大字山田

山田集落中心部に近い松尾明神碑の付近に奈良時代の土器片が散布していた。また荒井町の字折坂の畑地にも古墳時代終末期の須恵器や土師器や破片が散布している。いずれも丘麓の台地であり古代の居住地区とみられる。この時代の墓である横穴が松尾の字十五田と城ノ越の南面する山腹に所在する。出土遺物は明らかでない。

中世についてみると、松尾から高峯へかけて、鍋迫・大殿屋敷・坪ノ内上の3群から成る砦跡があり、八束郡から南下する旧往還に対峙している。さらにこの往還を下った城ノ越にも砦があり現在は牛荒神が祀られている。これらの付近の十五田・仲家の上や尺井には中世末ごろの古墓があり、五輪塔や宝篋印塔などがみられる。城ノ越と対峙する草尾坂は古戦場と伝えられ、石積塚や五輪塔が祀られている。

高峯の数ヶ畑や足水には鉄滓の散布するたたら跡があり、数ヶ畑には金屋子神木が祀られていることから近世のものと思われる。足水たたら跡は圃場整備によって消滅したのであろうか。

大字畠鶴

畠地区の平床遺跡では黒曜石の鐵や剝片が100片以上出土し、川内神社付近では局部磨製の石斧が採取され、今のところ大東町内最古の縄文時代の遺物として知られているところである。弥生・古墳時代については知られていない。

中世の遺跡では鶴神社下に多くの古墓五輪塔（神社下タ・堂ノ脇上ヘ）があり、土豪の屋敷跡とみられ、また東福寺下には大型の宝篋印塔があつて同寺との関係が考えられる。

鶴集落のあたりにはたたら跡が散在している。字たたら迫・カナクソ・金穴内では地名の如く鉄滓がみられた。芦谷では字鉢・瀧ノ尻で鉄滓の散布が認められた。小字地名ではこのほかに多くの地点が数えられたが、圃場整備のため現地で確認できる状態ではなかった。なお、瀧ノ尻たたら跡は、圃場整備工事の際には広く焼けた地面の下に大きな石組みがあったが小舟構造はなかったとのことで、近世の造構ではないかと思われる。

又、字金堀の谷奥には江戸時代後期に鍛冶屋があったという屋敷跡があり、付近から鍛冶に使ったという土製坩堝が散布している。

2. 幡屋地区

大字遠所

古代の遺跡としてはナマジ岩構穴群がある。大正年中5穴以上が発見され、土器や人骨が出土した。現在3穴確認、ゴミ溜となっている。

八十山の頂上には広い削平段の重なる寺院跡があり、南から上の参道や山門跡が残っている。この南麓にあたる別所谷の奥には旧一乘寺跡と伝える所があり、付近に字「寺中」がある。伝寺跡には古石塔片や無縫塔があり、付近には1対の宝篋印塔がある。奥遠所には地名に大門があり、その近く一の瀬に白粉石製の五輪塔がある。

製鉄遺跡も多く、別所谷奥の字東ヶ谷と字金クソには、ほぼ連続して4か所のたら跡と1か所の鍛冶跡が認められる。これらは林道によって切斷されて露呈している。また越木谷の丘陵上にもたら跡があったが、大部分は削り取られて畠地等に拓かれている。いずれも近世のような大規模なものではないようである。

大字幡屋

古代の遺跡では、大正年中宮内谷字元見堂の畠地で地下に穴があったとして発見された横穴があり、さらに付近にも数基あるものと推定されている。また字深坪では山際を削って開畠の際に横穴1穴が発見され、人骨や土器が出土したが消滅した。土器等遺物の散布するところは見当らなかった。

丸倉山頂上は山城跡であり、さらに北方宍道町城へと続いている。南麓大ヶ原には自害谷の地名もみえる。石井谷へ分岐する下組の丘陵端には、岡田上の砦がある。宍道町と加茂町への往還の分岐点であり、これに対する防備とみられる。

岡田上砦に続く竹ノ下から元見堂・天場・金穴内と西谷集落の山裾部には古墓が点在し、中世にまとまった村落になっていたことが窺われる。

なお、大用寺には近世の大形五輪塔や宝篋印塔があり、近隣には数少ない好資料である。都界に近く西谷奥の釜ヶ谷・大ヶ原や、宮内谷奥の金糞塚など山あいの谷間にたら跡があり、特に大ヶ原たら跡は規模が大きいようである。このほかにも地名からみると製鉄遺跡があったと思われるが確認できなかった。

大字仁和寺

仁和寺中心部の微高台地地形は、古代地方行政の中心である郡衙がおかれるなど古くから赤川流域の中心的地域で、弥生時代以降各期の遺跡が濃密に分布する。

穴ノ前やケ市においては弥生時代後期の土器片が出土し、大多和・法雲寺・竹崎及び仁

和寺東（諏訪神社前あたり）では古墳～奈良時代の遺物が散布していた。『出雲國風土記』に記載の都衙や新造院の位置については推定の域を出ないが、やはりこの台地上に所在する。

特に尾裏郷新造院については諸説あるが、大まかに中原口の御地を中心に東西の小堂の間であろうとされている。この区域内では奈良時代の土師器片等が若干出土し、地下には敷石部分もあるといわれている。都衙跡については地名から郡垣付近が第二次のそれに比定されている。しかし遺構・遺物については知られていない。

この時期の人々の墳墓の地はこの地域をとり囲むように諏訪神社上・西迫の高塚の古墳群や穴ノ前横穴としてみられる。少し離れるが岩根神社元宮には横穴式石室が残っている。

中世の城跡としては、加茂との界の独立峰に位置する高麻城跡が著名である。郭構成は主として加茂町域に属するが、約400mに及ぶ山稜上に郭を造られた要塞で、保存状況は良い。

ほかに、法雲寺裏の丘陵端には物見櫓があり、仁和寺中心部が展望できる。また妙見寺の裏山には狭長な曲輪が設けられており、中世居館の様相を示す。

このような地域であることから、小字地名に堂や寺院名が多くみられるが明確なものでは十輪寺跡があり、長泉寺跡は開畑による変形が著しい。また中世の古墓も散在しており、特に毛利方による高麻城攻めの際の死者を葬ったと伝える小丸子の墓地には夥しい石塔が山積みされていて、供養塔とみられる龕入の宝鏡印塔もある。

集落中心部の地下には未だ知られざる遺物遺構も多く眠っていると思われる。字徳藏寺の宅地から出土した五輪塔もその一つである。

大字前原

赤川北縁の字板屋原で、かつて微高地形にあった畠地から須恵器が出土している。圃場整備のため旧状は知ることができないが、古墳ではないかと思われる。

仁和寺台地続きの字土居は地名等から第一次の都衙跡に比定されているが、遺構・遺物等による立証はされていない。

Ⅱ. 主な遺跡

1. 縄文時代遺跡

大東町内では、農耕文化が定着する以前にあたる縄文時代の遺跡は極くまれである。代表的な遺跡は平床遺跡のみで、ほかは数点の石器又は土器片が採取されているだけである。前記以外には町内ではわずかに田中・織部地内に存在する。

平床遺跡：八束郡界に近い畠輪地区の山間にあって、特にこの遺跡は高原の台地地形のところである。畠耕土中に黒曜石製石鎌（図1）と剝片多数が出土している。石鎌は挿入りの後期ごろとみられるものである。土器は全く見られないことから季節的なキャンプ地であろう。

川内神社遺跡：神社脇の小さな谷部付近で石斧（図1）が採取されていた。全面敲打して整形し刃部のみ磨いている。縄文後期ごろのものであろうか。遺構等は全く不明である。

法雲寺遺跡：主として古墳～奈良時代の土器が出土するが、唯一点打製石器（図1）が採取されている。縄文後晩期の土掘り用の小形石鎌であろう。

2. 古墳時代遺跡

古墳時代から平安時代に至る古代の遺物が認められる地点は、共通して丘陵台地上に位置している。特に仁和寺中心部付近に多く、そして古墳はそれらを見下ろす丘陵上に営まれることが多い。中心地点である仁和寺付近には強力な首長が育ち、新造院を建立し、やがて古代行政の中心となる郡衙がおかれた。

仁和寺東遺跡：諏訪神社の麓で、仁和寺台地とのくびれにあたる町道界市線までの緩斜面の畠地では、一部に須恵器や土師器の細片が出土する。宇堂出・山根・諏訪・ケ市・徳藏寺・トウアミの各地点では、主として土師器の細片を採取した。なお、その後背山頂には古墳群があり、中心的集落があったと思われる。

大多和遺跡：仁和寺中心部から北東へ約700mの谷間の、字市右エ門屋敷・クヅノ木以後に所在する遺物散布地である。一部発掘調査が行なわれて、古墳時代前期から奈良時代までの土器片（図1）が多数出土した。遺構は不明であるが丘陵中腹あたりに住居跡が存在するものと思われる。

法雲寺遺跡：法雲寺域の厚い下層土は奈良時代以降の土器片が包含されており、寺の後背部丘陵に住居のあったことが想像される。また前述のように一点だけではあるが打製石器も出土しており、さらに古い時代との複合遺跡かとも思われる。

板屋原遺跡：赤川縁りの微高地で鹿（図1）が採取されているが、遺構は全く不明である。

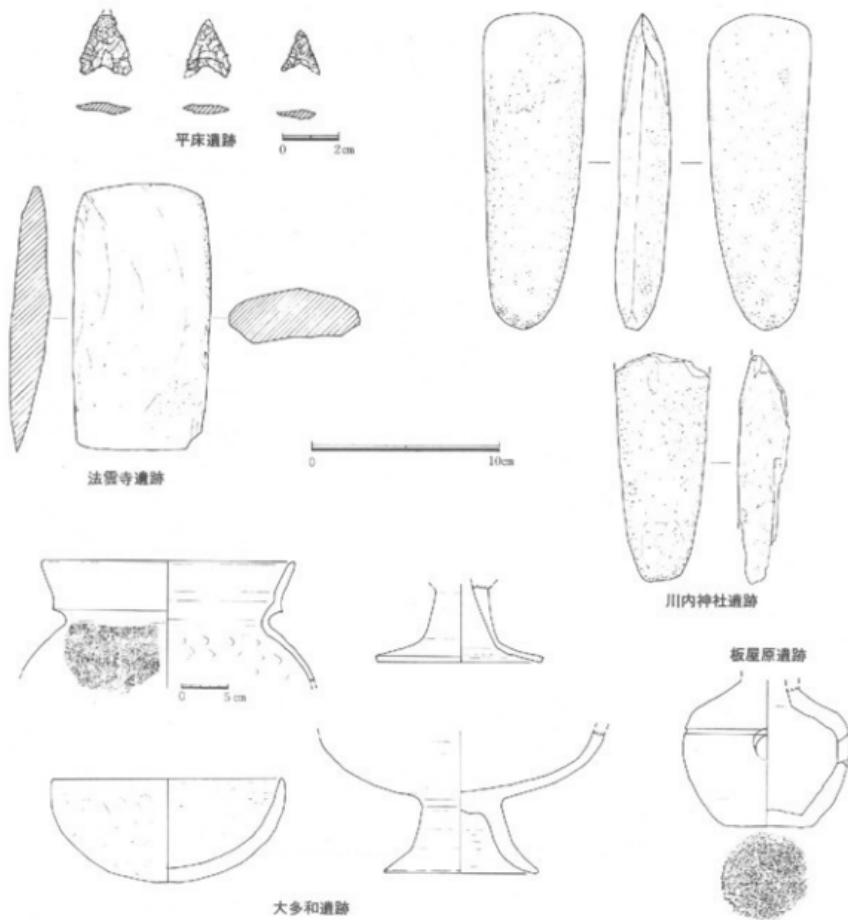
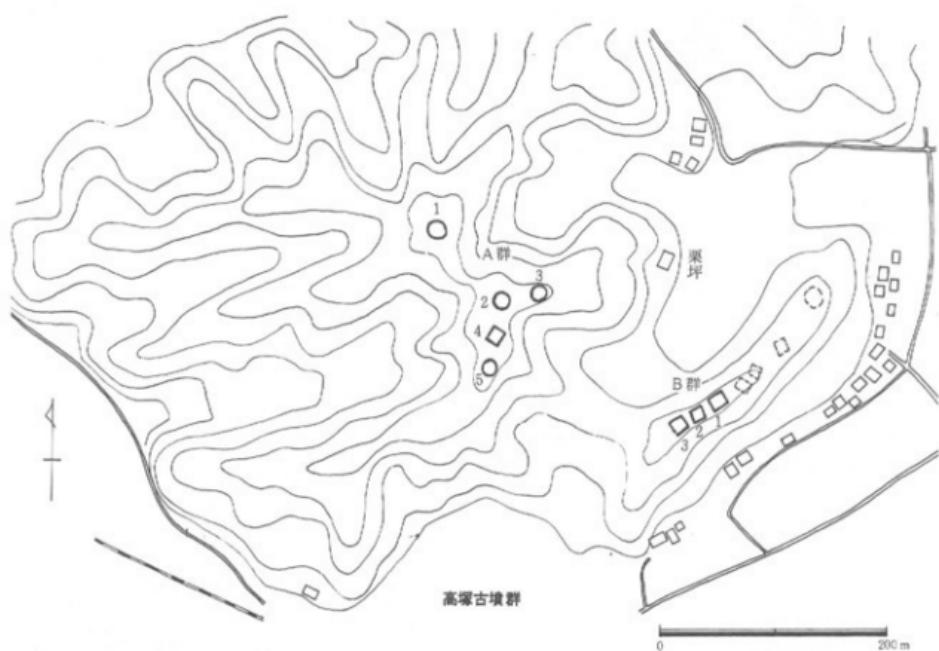


図1 遺物図

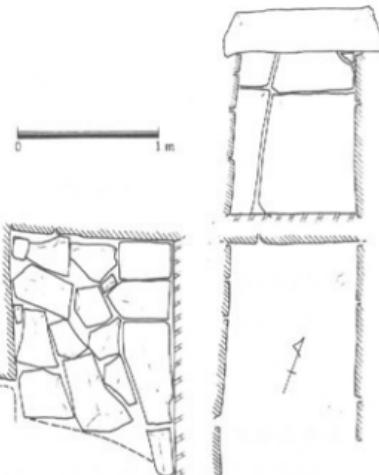
諏訪神社古墳群：仁和寺台地の東、諏訪神社上の稜線上に4基（図2）の円墳がある。直径5～9mのやや小形で、1号は大仙櫛現を祀る時頂部を削平している。このほか水源地となったところ及び愛宕社を祀ったところも古墳であった可能性がある。遺物や遺構は詳かでない。

高塚古墳群：仁和寺台地の西字高塚の稜線上の5基をA群とし、字開地稜線上の3基をB群とする（図2）。A群は直径10～16mの円墳であるが、4号のみは10×12mの方墳とみられる。B群は8～12mの方墳とみられ、さらに東方への稜線上のわずかな高まりも



諏訪神社古墳群

図2 古墳遺跡見取図



岩根元宮古墳石室見取図

古墳であることも考えられる。このA・B群の間は尾根続きとなっている。

岩根元宮古墳：岩根山の南麓近く、岩根集落の最奥部に張り出す支丘陵の端部に位置する。この古墳の墳丘を半分削平して岩根神社の元宮が祀られていたもので、奥の削り崖に横穴式石室の奥半分が残存している(図2)。地元の人々によると、この石室を祀っていたものかと思われる。残存する玄室は140×90~95cm、高さ115cmを計る。奥壁は1枚石、側壁下段は巨石を立てている。天井石は1枚が旧状を保っている。

稗迫古墳：養賀の北に張り出す丘陵端に立地するこの古墳は、明治30年代に発見、破壊されたもので、主体部は川石を數いた箱式棺かとされている。多くの須恵器が出土し、器高36cmの大蓋が現在している。また付近の水田下から鏡も出土したが、この古墳に伴うものかは不明である(図版1)。

堂迫横穴群：養賀の稚須祇神社の脇にある六社辯の後崖面に1号穴があり、開口は古い。出土した須恵人壺・長頸壺・蓋環(Ⅳ末)は同社にあることである。床面1.6×2.0mほどの長方形で断面三角形妻入り型である。さらにその丘陵端(南)に2号、尾根を越した東側斜面に3号が所在し、丘陵端には未確認ではあるがもう1穴あるようだ。

ナマジ岩横穴群：遠所川の大きく迂曲するあたり、川井橋に向って東に張り出す支丘陵の南斜面下方近く、畠地に面して列をなす。5基あったが、現在3基が半壊し開口している。大正14年に出土した須恵器壺蓋環など一乗寺に保管とのこと。

大井横穴群：大東下分字大井の家の後背部丘陵西斜面に1穴半壊し開口している。断面三角形妻入型で、遺物は不明。同じ斜面に1か所と丘端南斜面に3か所の落込みがあり、横穴の存在が推定される。

3. 中世の城砦

中世の幡屋・春駒地区は特にその後期において尼子毛利攻防戦の渦中にあり、数度の合戦があった所である。地区内での城砦は、拠点として高麻城・丸倉城・岩熊城を、出丸砦或は支城として岡田上砦・城ノ越砦・鍋迫砦群・法雲寺砦を挙げることができる。砦は概ね口往還の要衝に対して設けられているもので、支丘陵端に立地する。

高麻城跡(図3)：本格的な急峻な山頂の城である。山頂の主郭と付属する腰曲輪を中心に、東西及び北の3方に大きな郭を配し、さらに北には5条の急な豊堀を並列して中枢部とし、主として北西~南西面3方向の支尾根上に小郭を連らねて外郭群とし、北には広い郭2面を中心の別群が配されている。この別群は「藏成り」、「御殿成り」と呼ばれ焼糞も出土するとのことで、主要な建物であったと思われるところである。北西の高麻谷に張り出す支尾根上と、南西小門谷に向う支尾根上には小郭が廻続して設けられ、それぞ



図3 高麻城跡縄張図

れ登城路に対しており、數か所に城戸跡が想定される。

西に延びる丘陵上には点々と小削平地が認められるが、尾根基部の大きな堀切りで防衛しているとみられる。南西の小門谷入口部には丘陵端に出城的な別郭群があり、大手に対する構えとみられる。

主郭下に井戸跡が2か所に認められる。土塁や石垣は用いていない。

域名については、高佐城・大西城或は鞍掛山などの別称もある。

丸倉山城跡(図4)：宍道町との界の丸倉山山頂に位置し、最頂部の平坦面に郭が連郭式に配置されている。これからさらに北方宍道町方向への尾根に城域が続く。南東尾根は堀切りで区画するが、西方向へは急峻な自然地形のためか堀切り等はない。北方へは一段下がって宍道町域へと郭が連続する。未踏査であるが、北方への構えの城かと思われる。

南東寄りの郭に方形台状地があり、物見櫓があったかと思われる。南麓に自害谷の地名もある。この主郭部は眺望は優れており、大ヶ原から登り近時自然公園として手入れされている。



図4 丸倉・城ノ越・岡田上城砦見取図

岩熊城跡(図5)：赤川北岸に迫る丘陵上で、大字義賀と大東下分とにかくる。

越前の集落と城ヶ谷を挟んで大きく東西2群から成る。西が主郭群で、さらに大堀切により西の先端郭と区分される。東郭群は後背砦の性格が強いものとみられ、殿屋敷・馬乗馬場などと俗称され、その麓には○○屋敷の名称があるなど、居住区域であったことを示している。これらの郭群は城ヶ谷を挟んだ北側の狭い尾根伝いに連絡している。



図5 岩熊城跡縦張図

人家に近い低丘陵でもあり、かつてほとんどの郭が畠地として耕作されて、旧形が何程かは変形していると思われるが、大まかにその構成が偲ばれる。

郭の配列はほぼ梯形で切岸を生かしたものである。土塁や石垣は用いられていない。室町末期に馬田氏の據った城で馬田城とも呼ぶ。

岡田上砦跡(図4)：幡屋本谷と石井谷との合流点に向って張り出す低丘陵端にあり、尾根上に長さ約30mほどの狭長な主郭を設け、東・南の斜面に腰曲輪を配し、北の尾根続きは大きく堀切りで区画している。主郭の南～西縁辺に長く土塁を廻らし、北端の堀切り上に極く狭い台状地を削り残している。これは物見台であろうか。丘陵の麓に城戸跡と思われる構造が見られる。岡田の宅地も関与するものとみられ、館の後背筋のような構成といえよう。また北西後背地に字竹ノ下の地名や、五輪塔・宝篋印塔の古墓(図6・7)があり、これもこの城跡に関係するものかと思われる。

城ノ越砦跡(図4)：山田川の大きく迂曲するあたり、南西に張り出す低丘陵の先端部にあり、物見砦とみられる。字尺井に大きな堀切りがあったと思われるが、切り開かれて現在は宅地となっている。郭は丘端頂部にあって、東・尾根続きを切岸として独立させ、北に小郭が付属する。さらに北東麓の小谷地形に下る路がある。南側は急峻な山腹で、防衛線となるものであろう。なおこの南腹をかって近世には松江～仁多線の往還が通っていた。現今主郭には牛荒神を祀る。

4. 中世の古墓

各地区とも古墓は点在しており、現在も祀られているものや、埋没してしまっているものもある。五輪塔・宝篋印塔を標識としてみると、そのほとんどが中世後末期のもので、

まれに17世紀に入るものもあるようだ。これらの石塔のあるところは寺院又は城砦周辺、又は中心的集落に分布する傾向が認められる。即ち、例えば山田では菩提寺の隣りの十五田及び仲家ノ上の五輪塔、城ノ越砦付近の尺井五輪塔、合戦地として草尾坂の塚と五輪塔があり、遠所では八十山麓の一乗寺向の宝鏡印塔があり、鶴集落中心部の鶴神社下や堂ノ脇の石塔群、仁和寺では字徳蔵寺の五輪塔や高麻城攻めの由来を伝える小丸子山古墓の夥しい石塔群などなどである。

石塔の石材は、隣接する宍道町特産の来待石がほとんどであるが、畠中地内の2例にはより白色で軟質の『白粉石』が用いられている。

A. 五輪塔(図6)：本来五輪塔は墓塔である。そして地輪(基台部)には浅く裏挟りがなされている。各五輪塔は時代的な幅は少ないものとみられるが、石塔の部分についてみると次のことが挙げられる。空・風輪(宝珠・請花部)は、ほぼ直径が同じで宝珠の整った形のものから円筒形で中間を刻線で区画する省略形へと変化し、火輪(笠部)は高さがあり、棟は直線的で軒があまり反らないものから、棟・軒ともに強く反り、高さも低い形のものへの移行がみられる。全体の丈高もほとんど小形であるが、鶴社下五輪塔はやや大形でホゾも角であり石材も白粉石であるなど、やや古態を示すものとみられる。小丸子山古墓には多数の石塔が集積されていて、若干形態の異なるものもあるが、図示した塔は来待石製の整った形態のもので、戦国期の当地での標準的なものとみられる。

岩熊や草尾坂の塔は、笠部がやや薄くなり反りをもつなどやや下る頃とみられる。さらに仲家ノ上や竹の下古墓には、宝珠部が円筒形に省略されたものがあり、これらはさらに下って17世紀に入るものとみられる。明らかに江戸時代のものとして、大用寺境内に高さ約2mの大形五輪塔がある。由来不明。

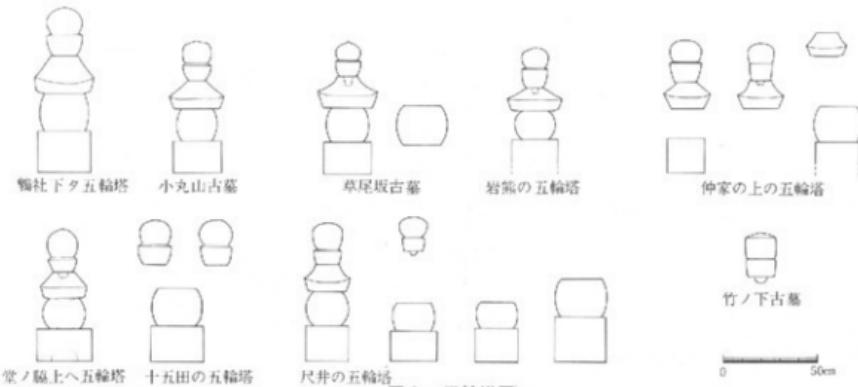


図6 五輪塔図

B. 宝鏡印塔(図7)：宝鏡印塔は、多く供養塔として建てられているが、時には火葬骨を納入した場合もあり、大まかに墓所又はその隣接地に集中する傾向がある。特に2基1対をなすもの、或は龕に入ったものは供養塔としてよいようである。近隣地での古例では花崗岩製もまれにあるが、当該地内の塔はいずれも米待石製である。基台部は封納のための裏挟りがあり、やや横長のプランである。塔身はほとんど直方体で四面に金剛四仏の梵字を陰刻しているが、月輪の有るものは全くなかった。笠部では隅飾突起が時代による変化が大きいとされているが、地域内のものはほとんど同趣である忍冬文(カスプ)のあるものと省略されて無いものとが認められる。また軒は階の厚さとほとんど同じ程度で薄く、上層も省略された省階式であり、九輪も単に線刻のみで表現し、請花座や反花も九輪とほとんど同じ形態でわずかに太くするなど、省略が著しい。これらの状況から戦国時代も後半以降であり、江戸初期にまで及ぶかと思われる。

中世末のものとして整っているのは、遠所一乗寺向の塔(対)、幡屋の元見堂古墓が挙げられよう。また飯田西方寺の龕入り塔は珍らしく独塔であるが入念に造られている。仁和寺小丸子山古墓には夥しい五輪塔・宝鏡印塔が累積され、その中央に龕入り1対の小形の塔がある。省略された形態であることから、五輪塔等より一段新しいものとみられ、後世の供養に由来するものと思われる。幡屋天場の宝鏡印塔は、古墓と思われる小段地の最上段に4基(2対)並立するもので、総供養の塔と思われる。幡屋元見堂古墓にある笠部には全く階がなく、隅飾突起の基部も区画されていない簡略なもののがみられた。

このほか最も新しい塔は、大用寺上の秋葉社地に建つもので江戸時代末嘉永5年銘の塔があり、花崗岩製で高さ2.3mを計る。

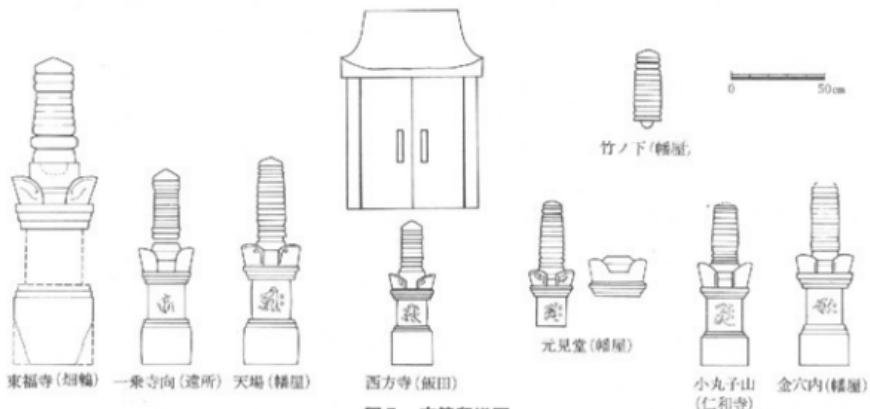


図7 宝鏡印塔図

小字地名一覧表

春穂地区

大字飯田

地図番号	小字地名
1	金堀免、奥明、西迫、北
2	北ノ前、北
3	間田、セキ田、仲田、又下、中ソリ、藏柱、七日田
4	桶戸隠
4 - 乙	桶戸瀬
5	下久保、寺田、以後田、正免、角田、 二 原田、砂田、中曾利、中ソリ、天場苗代田、一反場、カラス田
6	笠屋、渡り上、上等塙、天塙田、天場苗代田、塙田、井手添
7	加茂日、欠田、添田、川原、塙田
8	サキ、水落、深田、八幡後、板橋、井手添、(井口田)
9	加茂日、欠田、板橋、源ケ原、立田、正天王、八久保田、又下、中ノ坪、輪羽広、八幡後、深田
10	前田、桶坂、イツミ、机堂、 二 場、山サキ、ウ子
11	竹ノ下、西迫、前田、藏ノ殿、藏ノ段上、奥明、北
12	藏ノ段、土居、 二 井、前田、寺迫、寺ノ前、寺前ノ上、家ノ上、権現、寺ノ前道ヨリ上、寺脇、奥明、寺ノ上
13	寺ノ前、稻田、稻田原、添原、寺ノ向、端泉寺、イツミ、広田
14	イナタ、小堀ノ前、稻田、稻田原、添原、塙ノ内、休場上、乘越、天王前、井ノ房、上羽広、中ノ坪、又下
15	立山、小堀、小追、小底迫、寺ノ上、家ノ前
16	立山、サセ峰
17	演塙、サセ峰、佐世峰、大峰
18	御塙、岩広、下岩広、稻田
19	東越、天王迫、才ノ前、天王前
20	八久保田、深田、立田、井手口、外輪田、石輪内、上井手口、仲園、天王前
21	天王前、天王山、天王迫、イヤ谷
22	越前、上岩広、岩広、乘越
23	上岩広、向岩広、下岩広、岩広、乘越、越前
24	上岩広、下岩広、岩広、大峰、立山
25	越前、岩広、寺坂り、堂角、大谷、五百田
26	高塙、南迫
27	大久保田、西ヶ坪、神田
28	又下、畑ヶ中、日焼、ハケノ前
29	中曾根、堂本田、堂重田、東ヶ坪、畑ヶ中
30	神田、大月、松ノ前

大字養賀

1	才ノ前、池田追、池田、懸戸
---	---------------

2	六反場、家前、吉川、カタ屋敷、西隣、井戸尻、戸手開、戸手付、中川原、下糞箕、家後
3	喜佐田、中ソリ、家下中ソリ、浜、土手元、土手開、下川原、川原、土手根、外新田、新田、新田尻
4	輪ノ内、家後、藤曲り、善角寺、椿追、才ノ前、大下
5	本追、本追異、萬追免、椿追、善角寺、松ノ前、屋敷余、追、東追
6	宮ノ追、元宮後、元宮追、宮ノ前、元宮、元宮道ノ上、松ノ前、宮ノ前井手北、善善庵、松ヶ迫、元宮山後平
7	外新田、道狭、下川原、土手根、原ノ後、寺ノ前土手元、寺ノ頭、井手間通南、カリ田、井手北、カリ田、唐竹、中ソリ、御正免、篠月、篠月上ミ、荒神畠田、下川原土手付原後新田、原後、原ノ上、原、門田、代宮家田、井手向、苗代田、寺ノ前、西ノ前、井ノ尻、越前、漆ノ上
8	松ヶ迫、松ヶ迫尻、西ヶ市後、家後、四ヶ市、家ノ上、松ヶ迫東平、道ノ上、寺ノ前、城堀寺下タ、寺ノ上、常楽寺、番所、番所、宮ノ下、二ツ岩、堂追、城堀寺、井手ノ上、西畠ケ、荒神畠、井ノ尻、跡ノ下、下リ
9	坂森、岩杉免、宮ノ追、宮ノ追吳、宮追頭、松ヶ迫道坂畠、松ヶ迫、松ヶ迫ウ子、松ヶ迫新畠、松ヶ迫奥
10	東畠、二ツ岩、宮前、宮ノ前、堂追頭、堂追、狐追、大道、ウタイ處、セカキ免、御代官新田、カワニ堂、ショキ田、字代庵、三反田、道ノ上、上屋敷、上屋敷上ミ、旧代宮家屋敷、旧代宮家上、元代宮家順、山根、下闢田、井ノ尻、榜ノ下
11	ク、谷、才ノ幹、ハケノ崩、ハケノ上、モヤケ前、狐追、山根、透水、里田、御代官、山根上
12	ク、谷北早、ク、谷西追、ク、谷、ク、谷奥、ク、谷美ヨリ東平
13	モヤ尾、モヤ谷、中ソネ、ク、谷、一ツ久保、椿追、モヤ谷入口、平田
14	新田、平田、カワニ堂、平田家ノ下、平田上、カセ崎、外手上、マノカ谷
15	岩能川原、岩能、銀治原原
16	銀治原原、柄ヶ市、種ノケ市

大字大東下分

1	才ノ神、家ノ上、吉成院、穴ノ口、荒神追、横道、木守前、構成院、童ノ前、屋敷余、木守ノ前、子守、林ノ下、日焼、日焼頭
2	日焼頭、引地、天神、童ノ前、覺慈院、門所ノ上、門所ノ前、大畑、宮ノ上、原田、門所、家ノ上、門所上、日焼、寺ノ前
3	才ノ神、井手口
4	土井、宮ノ上、宮ノ前、中屋敷、稻荷社、門所ノ上、門所ノ前
5	原田、寺ノ前、山王前、寺ノ裏、山王、山崎
6	宮ノ前、町頭、町後、屋敷余、町上、屋敷余り、町屋敷、七屋敷、町尻
7	向鳴
8	町下、町尻堀リ、外屋敷、岩船、町尻堀、越前
9	町下モ、内ガ井、外屋敷、内屋敷、下モノ原、町尻、二ツ久保
10	下ノ原、越前、横当、十妻尻、十五表尻、下山崎、山崎前、横下、山崎、堂ノ前、ヲワシ神田
11	横前、掛ノ前、川原出、又下、井ノ尻、高娃、杉ノ追尻、上入塚、向追、清水尻
12	杉ノ追、中尾、中尾房、二升合、大津配、矢貫、大追、塚田、塚出頭、中尾頭、杉ノ追頭
13	愛宿免、細工駄、梶無、梶ナシ、延喜
14	高下田、石堀、延喜尻、雛田、武反田、大ノ田、種ノ奥、塚田

15	橋ノ奥、恵比須免、塚田、高丸
16	高畦、恵比須免、四斗五升尻、松ノ木、井ノ尻
17	代ノ田、佐藤久、サトフケ、高畦、恵比須免、代、代ノ上、代ノ前、寺ノ臨、灰田、客人田、客ノ後、宮ノ前、岡上、岡ノ上、明西堀、二石出、漆ノ免、漆免、横手、高畦、塚頭、塚頭、大畠上り、塚ノ段、宇模、大畠、大畠ヶ上り、小追谷
18	宮ノ前、前出、藤坂、大成、大處、一ツク保、下モノケ市、下ケ市、下モケ市、寺奥、堂塚、横屋塚敷余り、藏ノ尻、宇根、寺ノ奥、宮ノ奥、宮ウ子、範免
19	家ノ口、大井、藏ヤ敷、花栗、家ノ前、堂原、家ノ奥、四郎兵エ屋敷、カド、道ノ下、前出、竹ノド、仲追、戸井ケ珍、仲ノ追、仲之追、仲ノ追尻、大畠、客ノ後、松ケ迫、細工堀、八マン田、日焼ノ上
20	寺之追、筆谷尻、筆谷、漆免、井ノ尻、大町尻、大町、客ノ後
21	カリラケ免、横当、西ノ追、カワケ免
22	童道、立平、岩崎、越前、十五夷尻、安仙堀、安セン堀、城ヶ谷

大字山田

1	半田、川原、杉ノ追、笹谷、石崎、長嶺尻、長畠ケ、下川挾、上川挾、二荒神
2	コガノ免、荒木、荒木尻、内穴、首切峰、イギ、王月ケ原
3	越木免、杉谷、鈴場、内穴、王月ケ原、柿ノ段
4	柿ノ段、松ノ前、柘道、深サ、草尾、清水、橋詰、堂田、清水尻
5	草尾、宮ノ谷、藏地、橋詰、寺ノ谷、寺の道、新屋、味噌堀、寺ノ前、神宮守免、細工塚敷、金築田、乘手、水ノ手
6	木免藪、米藏、天場、厚朴谷、弥助谷
7	松尾、川原田、萬所、川原、坪ノ内、平、堀屋敷、金穴地、平ケ市
8	古屋ケ市、平ケ市、穴ヶ追、鍋追、峯畠ケ、ソキ逐シ、足水向、足水、大嶺屋敷、坂田
9	数、大ヶ畠、大畠尻、大畠後平、大畠、ツ、ラ谷、大畠、大畠向平、灌谷、シビガ谷、大畠奥
10	高石、植谷、母母追、坂屋ケ谷、兒子ケ谷、高石東平、休場、麦ケ追
11	藏ノ平、豌豆畠ケ、小道、廉田、隱居、門面敷、漆原、川原田、田中、荒神、漆川川挾、堂敷川挾、松ノ前、藏伝寺、門平、高石、庄ノ田、母母ケ追、大仙ケ追、美師塚、橋ノ谷、齊提寺、イヤ谷、門手道挾、新屋下、セドノ田、中屋、大岩、五斗尻
12	齊提寺、イヤ谷、カハリ、十五田、堂ノ追、後谷、宇ガ賀、樋追、追り田、イヤ田
13	大木谷、清水、五斗野、平田
14	尺井、畠田、大成、イヤ田
15	堂ノ崎、イヤ田、堂ノ前、火心、後出
16	大道、イヤ田、堂ノ追、堂ノ前、客田
17	禿崎、川端、荒井町、森之前、又下、城越、谷尻、才ノ神、折板、森平、神田、經根山、後田、向尺、城ノ越、尺井道挾、上尺井、尺井前、森前
18	雀、箱瀬谷、中ノ田、中ノ追、堀リ、金穴地、金穴内、雀向、ドラ取免、長畠ケ、穴田
19	菖蒲、一本松、隠追、畠田
20	中ノ田、二又、南波田、藤突、雀、中ノ追、二又尻
21	才ノ神、雀向、内方、土地仮、石崎、櫻木追、家ノ上

大字畠鶴

1	坪、石塙リ、桜才、藏ノ上、川平
---	-----------------

2	権才、餅囃り、提迫、石堀、持
3	権才
4	権才、ウッキヶ持、餅囃り
5	権才、川平、ヒイゴノ裏
6	坊主囃り、川原囃り、ヒイゴノ裏、川平
7	ヒイゴノ裏、坊主囃り
8	大久保、吉田、坊主囃り
9	寺ヶ丸
10	吉田
11	ハツ久保、イヤ谷、矢谷
12	寺ヶ丸
13	寺ヶ丸、長迫、川原囃り、板橋
14	板橋、寺ヶ丸、ナガサコ
15	ナガサコ、長迫、新田、板橋、瀧ノ尻
16	瀧ノ尻、柳ヶ市、柳井ヶ市、トチ免囃り
17	柳ヶ市、羽尾、柳井ヶ市
18	瀧ノ尻、タキノ尻
19	タキノ尻、瀧ノ尻、釜ヶ原、羽尾
20	釜ヶ原、カマケ原、瀧ノ尻、(与右エ門追)
21	雨堤、留堤、釜ヶ原
22	家ノ迫、畠田、鉢、芦谷、向谷、獅子囃り
23	野田ヶ持、釜ヶ原、芦谷、羽尾、畠田、高石
24	ナワ手、芦谷、三崎谷、鉢ノ井戸奥、芦谷提迫、家ノ迫
25	竹ノ下、芦谷、前田、芦谷竹ノ下、アシ谷
26	芦谷、高石、コヤケ谷、シフオ、ジウオ、十才
27	竹ノ下、大久保、芦谷、竹ノ下ヨリ大久保出店、トウ谷、大久保田
28	荒畠ヶ、ヤゲン谷、ナシメキ谷、シメキ谷、穂サコ、足谷、池谷、中谷、芦谷
29	中ノ橋、錢神中ノ橋、武神
30	錢神、椎ノ木追
31	畠ケ囃り、一ノ懸、市之瀬
32	市ノ瀬宮ノ奥、一ノ七
33	柿ノ木田、京免、林ノ前、乞食原、乞食ケ原
34	京免、屋敷前
35	屋敷、屋敷ノ上、京免
36	金穴ノ内、金穴地、三百堀り、榎谷
37	金穴内、長迫、岩カニ
38	乞食原、林ノ前、三崎谷、御崎谷、坂根、追畠、カド畠、堂ノ協、竹ノ下、柳田
39	柿ノ木原、乞食ケ原、前田
40	宮ノ谷、米追、米サコ、瀬ケ迫、柿ノ木原
41	家ノ協、家ノ奥、堂協、藏本、宮ノ谷、宮ノ下、上西、下リ西、横畠ヶ、竹ノ下、米追、元屋敷 堂ノ協
42	前田、藏本、屋敷余り、大畠ヶ、前田屋敷、市右エ門屋敷
43	堂ノ協、坂根、松之脚、人見ケ谷、桑ノ木坪、与三ヶ前

44	ヨ追、与追、ヨザコ、与ザコ、家ノ奥、家ノ脇、井戸ノ奥
45	山ノ神、松ノ削、森ノ前、森脇、早稻田
46	神田、早稲田、三ツ久保、松之前、桑ノ木坪、井口、桑木坪
47	井手口、井出口
48	井手口、式表尾、寺田、山根
49	古堀り、寺田
50	寺田、向寺田
51	桜ヶ坪入見ヶ谷、桜ヶ坪、桑の木ヶ坪、下モ仏ヶ追、仏ヶ迫、仏追
52	金クソ、長井田、広畠ケ
53	仏ヶ追、仏追
54	金堀、金堀、カナクソ、長井田
55	八升堀り、植木谷、打迫ヨリ仏ヶ追底、柳ヶ谷、金堀リ、打道
56	打道、金堀リ、大カナクソ
57	古屋敷、与ザコ
58	森脇南渡山、古屋敷、向古屋敷、桜ヶ谷
59	古屋敷
60	庄ノ田、平出、塙之田、鉢迫、古屋敷
61	境ヶ谷、平出、ヒラタ、花ノ尾
62	上代垣、堤追、クワイ田、クハイ田、クワヒダ、クワヘダ
63	上代垣
64	宮ノ谷、上代垣
65	宮ノ谷、宮之谷、堤追
66	金穴地、金穴内、北迫、宮ノ谷
67	才ノ神原、北道
68	北迫、松之木、松ノ元、接ヶ谷、荒神尾
69	松ノ本、後ヶ谷、ウシロケ谷、荒神尾、北迫
70	早稻田、寺之前、紫之木、松之本
71	大空、大ソラ、迫、家脇、隣町、家前、草之木、葛之木、松ノ本、松之本
72	宮ノ奥、宮ノ上、大空、神田
73	余谷、竹ノ下、前田、竹之下曾根、梨子ヶ跡、迫畠ケ、橘之本
74	金谷、若宮、日焼田、神田
75	金谷、迫畠ケ、神田、與ノ屋敷、與屋敷、前屋敷、前田
76	神田、與ノ屋敷
77	神田、岩カヘ、瀧ノ本、瀧ノ本、鍋石、岩カヒ
78	普ノ谷、若宮ノ下、瀧ノ本、瀧ノ元、乙杉
79	乙杉、鍋石、瀧ノ本
80	乙杉
81	平床、野リ越シ、清水元、大田平、菅谷
82	平床、大成、大田平
83	日曉田
84	日曉田
85	平床、カナクソ、後ノ谷、後之谷
	後谷、後ノ谷、平床

87	平床
88	ヒラ床、平床、大成、大成子
89	大カナクソ、鷺山、金壠リ
90	鷺山、長畠ケ、シノ山
91	カナクソ、鷺山

幡屋地区

大字遠所

地図番号	小字地名
1	橋手、宮ノ前、下橋手、ハナタ、堀、トモ、十王堂、朝原
2	三本木、鍛冶屋、ナマジ岩
3	小霞治屋、鍛冶屋、折坂、三本木、神田、宮ノ前、梨ノ木田、口免、深田、杵築神田、トウド
4	カケト、横手、横松
5	竹添、朝原
6	禿ノ前、井尻、馬コロガシ、坂根、ハシノタ、深田、荒神前、□二ヶケン
7	松ノ木、カウメン追、カウメン、源五郎、カイチ、荒神ノ下
8	口谷、ヤタギ、一本松、壹念坊
9	一ノ坪、持田、眞跡作、堤追、堤、日谷
10	左敷、尾手、才ノ登、井尻
11	口窓谷、柳ノ木迫、深迫、日宝谷深迫
12	白石、南追、一ノ坪、南追下ノ谷
13	黒田、鍋山、高畔
14	カラシキ、高畔、向迫、鍋山、井木
15	井木畠、井木、向追
16	小追、合谷、ドウド
17	才ノ岬、アワイ谷、金穴地、合谷、小追
18	舟追、川井、川井前、旱稻田、三反田、惣
19	上窓迫、下窓迫、宮ノ迫、三反田、宮ノ前、宮、イヨド
20	馬谷尾、二反田、羽広田、クケド、クケド追
21	西半、鳥谷尾、日焼田、安作、二反半
22	柳ヶ坪、ヤタラ、貝角
23	古庭敷、柳ヶ坪、杉迫、馬鞍
24	寺田、堀川地、真ノ前、神野、杉迫、高木
25	下月峰、深九、月ノ峰、西ノ追
26	平ノ下、畔豆、平、平ノ上、下月峰、大成
27	平ノ向、乘越、越ノ口
28	名子田、後名子田、仲田
29	下別所、トチノキ、長、真ノ追、堀尾
30	トウ追、トン追、椿若追、堀尾、別所、北別所、井彌、結堀
31	灘平、穴覗音、灘尾、若ケ谷、向灘尾、結垣
32	金クソ、岩ノ前、尾原谷、鶴谷、八十、八十家ノ平、早畠畑、尾原谷

33	向農業、澁ノ上、農業
34	寺中、東ヶ谷、才ノ木、山越ケ増根、才ノ木尻
35	須麻田、向田、原田、福ロウジ、覚山
36	川原田、前馬場、馬場、下家市、上ノ家市、桑ノ木原、上ヶ市
37	馬場、大畠ケ、四卜市
38	和泉、同道
39	田中、川瀬、下田中、二反田、橋ノ口
40	木垣、ヘン追、堅田船、橋筋、和泉
41	深坪、井手平、九才谷、長畠ケ、ドウケ追
42	椎ノ木
43	牛荒神、椿畠ケ、高清水、霧ケ坂、上リ迫、大ヶ谷
44	大ヶ谷、トウダケ追、長迫、川平
45	板橋、休場、川平
46	龜ノ尻、半ノ田、六郎谷、板橋
47	三山口、越木谷、中坪、尻坪、尻ノ坪、瀧尾、上ノ坪、アケケ谷
48	カシケ追、追ノ下
49	山ノ神、一ノ瀬、家ノ上、堂ノ前、家ノ奥、大門、上ノ坪、中ノ坪、一里山、菖蒲ケ谷、尻ノ坪
50	平ノ迫、大門
51	薦麦谷、大門、小薦麦谷

大字幡屋

1	鐵治屋塙、紙屋、清無庵、紙屋田追、紙屋小追、紙屋田、漁辺、境ノ前、境ケ市、造田
2	紙屋、荒神ノ下、矢内田、奥出山、日焼迫、才免ケ追、トロロ、松山トロロ、ゴドロ林、肱ノ前、竹ノ下
3	五十嵐、百脛、殿追、禿崎、ハンケ坪、岩根山、ハンケ坪鶴越、松山、二又
4	大藪、長迫、左敷、長迫尻、月ノ越、石田、五宝追、仲田、大久保田、寺追、尻口、床田、二又
5	前二又、太々追、下一条、上一柔、一柔、溝江、湯柳、溝江谷、一ノ坪、大堤
6	堀江、追、明月寺、四迫田、希道、戸舟ケ平、其四郎谷
7	山ノ神、竹ノ下、岡山西、星敷、西ノ前、岡田、家ノ上、上ノ坪、前田、水行、鉢谷尻、鉢谷西、鉢谷、柏迫
8	山田屋敷、上大添、甚四郎谷
9	荒神ノ追、菅和舟、仲田芥井田、仲田、上見堂、中見堂、明村寺、梵堂、新屋、新屋前、德利軒、赤坂
10	淹ノ本、西見ケ谷、淹ノ下、鉄穴内、横手道、天場、日焼田、土櫻、中馬場、天場道ノ下、道ノ下、堤追、叶追、奥叶追、奥穴田、穴田、荒神ノ追、秋ノ追、登和寿、トワジ、外ヶ市、大口
11	三久保田、柳井ケ坪、淹ノ上、細追、西見ケ谷、北追、ホウノ木
12	淹ノ上、越前、荒田ケ追、六郎谷、北橋、才ノ神
13	井ノ尻、堅田、北橋、坂山、大ヶ原、七呂ケ谷、カリヤケ追、丸倉山、地替ケ谷、御見ケ谷、笠ケ谷尻、笠ケ谷、才ノ神
14	笠谷床、榎谷、大ヶ原、穴禿、大ヶ原頭、丸食山
15	弘ヶ坪
16	草木原、大ヶ原、清水山、上梨子ノ木谷、淹ノ上、淹ノ追、三久保田
17	欠

18	大馬場竹山、小迫、小迫屋敷、石畠、大馬場柿ノ段、石畠小迫、湯田、湯田房、元見堂横トロ、横トロ、横畠、大馬場、室地坪、馬ケ谷、大道、室地、長泉屯、藏屋、室地新田、井田
19	湯ノ迫、大用寺、前田、繩手添、柳ノ木、堂ノ前、馬場先、觀音堂馬場先、觀音堂、秋葉山、東星田
20	真ノ山、佐平田、段原、段原叶古、葛ケ市、堂成、段原角畠、宮内
21	段原、光見堂田畠、池ノ谷堂成、池ノ谷、光見堂、大坂、乙屋敷、堅田、禿ノ前、流田、堂ノ霜、平ノ田、五郎右エ門田、上々堀、上々堀東
22	ソリ田、上々堀西、山ノ神、大谷、鉄糞塚、御崎谷
23	流田、上成、下成、上ソリ田、ソリ田、鐵治屋奥、禿ノ舞、小堤、小堤頭
24	井手ノ迫、鐵治屋頭
25	禿ノ前、井手ノ迫、鐵治屋奥、羽花舞
26	後ケ市、外早稻田、丹後堀、衛守屋、内井
27	衛守屋頭、丹後堀、衛守屋本谷、衛守屋尾ノ谷
28	大半山
29	中島明、奥明、鈴子頭、字欽穴、衡守屋二ノ岸
30	中指坂田、横塙、横塙前、田中屋敷、横原、下奥明、咲花、中島明、植ノ木、下早稻田、梅ノ木迫、荒神原、
31	道ノ下、番所、植ノ木、広畠、家ノ上、宇畠、植畠、李畠谷、宇畠谷日燒迫、宇畠谷上ヶ迫、羽畠道、菖蒲谷
32	神原田、菖蒲谷
33	ソリ田宮ノ前、宮ノ前高峰、御船尻、七曲、空免、真ノ迫、宮ノ前西ノ迫、西伊西ノ迫、西伊東ノ迫、西新頭、西野、小塙ノ谷、藤迫
34	空免、土小堀、正田、井ノ尻、長迫、月ノ崎、古畠、幡屋山、七曲
35	輪ノ内、漆免、下小堀、長畠
36	薺沢、鉄穴田、掛木田、爲木田井手口、八款田、輪ノ内、櫻木迫
37	繩手添、ドウドウ、櫻木迫、十把脇、打辻、宇都迫、植ノ内、脇田、上播、植ノ前、中播、前田、潜戸
38	潜戸、萬平、鞍背
39	梨子ノ木谷、水昌田、屋敷免、水昌田尻、金坂久、高峰、水門田
40	早船田、花尻塙田、塙田、耕田、花屋、樋ケ坪、溝江、堂ノ迫、都迫、深坪
41	川原田、下ノ平、平ノ前、高田山

大字仁和寺

1	池田、田島田、日野田、高塚、堂田、細田、堂多
2	下矢田、日野田、中矢田、七日橋田、吉原ケ市、上矢田、七日ビ田
3	高サ、櫻木、堤ノ上、矢田、脇迫、幡山、中田小迫、七日橋田
4	堤之内、日合、社田、堂トウ、福迫、中田小迫、ウロシ迫、小枝、堤ノ下
5	上矢田、堤之内、叶迫、高サ
6	池田、高塚、後高塚、米山、黒谷、黒谷向
7	西ノケ市、開地、安道、トウボシ田、池田沖、池田仲、池田来山
8	西ノケ市、開地、平井、水落シ、栗坪
9	高塚、高塚谷、長泉寺、栗坪、後ケ市、後ケ一、油崖、西迫
10	叶迫、大畑ケ、折橋、目合、茶ウジ、茶ウジ曾根尻、茶タジ、小枝、長泉寺、油崖、西迫

11 叶追、向松山、松山、大畠ヶ、庵江田、庵井田
12 西追、松山、折橋、宮田、松崎、甚右エ門屋敷、九量、神田頭
13 天端、門見堂、宮迫、寺ノ前、法雲寺、横枕、西追、ナツメ、平井、穴ノ前
14 野羅田、野ウ田、宍追、西追、法雲寺、マガリ追トタ、作右エ門空、留五郎空
15 休場、庵井田、小追、小追顛、高野田
16 九量、神田頭、立田、本追、大空、娘江田、家敷、甚右エ門屋敷、曾根田、カワラケ免、竹崎
17 器免、高畔、九量、曾根田、械口谷、カハラケ免、元助屋敷
18 後ケ市、新井、木カゲ、大空、竹崎、平田、轟田、轟磯、御佛川平
19 水正、岩根、岩根ノ上西谷、桜谷、神田頭、清名、セイナ、宮ノ谷
20 蛇ヶ鼻、鳥越、宮ノ谷、水正
21 桶口、鞍折、福禪、定藏屋敷、立井、上代、神宮寺下タ、上代堺、後ケ一、後市、中屋、宮ノ谷、
神宮寺、上代下タ、後ケ市、立平空、童ノ上、新井
22 桶口谷、岩根、十六
23 岩根
24 三反田、乙グラミ、若宮田、太ノ田、立田
25 水正、ジャガハナ、大以後、蛇鼻、岩根
26 ジャガハナ、一ノ坪、小田、石畳ケ、足無シ、後ケ市、後ケ市出口、三反田、イヅリ葉坪、平石
27 志り免、境ノ出口、塚田、見内垣、大ノ田、後ケ市、櫻谷、童ノ前、葱新田
28 境、境ノ前、境ノ上後ケ市出口、後ケ市、境ノ空
29 後高田、古毛原、高田、落合
30 小原、狐追、横日
31 等ノ目、鶴日
32 尾サ垣、狐追、巳ノ口、小追
33 才ノ神、一本松、カイ追
34 カイ追、長追、深田、才ノ神、棚ケ田、広畠ケ、大畠、細田
35 油田、長追、五反田
36 油屋、狐追、三反田、五反田、越前
37 深田、石畠、水室田、坂ノ前、元田、仲田、棚田、大以後、タブノ木、タブノ木以後、大畠、内
田、広畠ケ、市右衛門屋敷
38 尾サ垣
39 敷地、カブ地、巳ノ口、松ヶ迫、仲田
40 小原、狐追、椿木迫、巳ノ口、仲田、カツ地
41 檀木迫、善匠免、角田、小原、志田原、竹添
42 カジ地、カツチ、升手、竹添、轟川、升手ノ上、升手ノ前
43 竹添、升手前、久文給、庵田、中出原、久門給、室田
44 中田原、土橋、辰ノ口、金穴地、尾崎、尾サ垣、丸表戸、棚ケ中、広畠ケ、ハナ田、カジ地
45 尾崎、尾サ垣、尾崎曾根、金穴地、カブ地、松ヶ迫、尾サ垣、大ノ田
46 尾サ垣、尾佐垣、十輪寺、大以後山根
47 狐追、城越、山出山、茅原、林ノ前、火ノ出、山根、仲田、大イゴ
48 山根、諏訪山、角畠、大前、本田畠、家ノ上、壹田、大前畠、中屋、林ノ前、茅原、裏ノ上
49 郡垣、長屋、長屋原、ケ市、佛藏寺、棚ケ中、尾サ垣、大ノ田、十輪寺、諏訪山、宮ノ前、トウ
アミ、諏訪、甚右衛門屋敷
50 長屋、坂屋、長屋原、宮ノ前、宮ノ下、角畠ケ、屋敷前、潤井、代官家、代官家下タ、代官家東、

50	大垣、本田畠
51	瀬戸、小丸子、不成ヶ池、小丸山、板原、鍛音堂、郡垣、大数、原、二本木、大五サン、田源ノ下タ、鏡田、芝原、広堀ケ、能登坂、曾根、口ノ出、出来頭、都体垣、芝原、鏡田、角柳ケ、下リ
52	森ノ所、大迫、湯原原、大数、能登坂、曾根、口ノ出、出来頭、都体垣、芝原、鏡田、角柳ケ、下リ
53	湯原原、曾根、ドリ、イコ、平ノケ市、平向、開地向、平ケ市、原、大数、平井向
54	開地向、織部、日登

大字前原

1	前田
2	新石、耕ソリ
3	初ソリ、板屋原、新石、土居、板原
4	前田、七居
5	上ヶ市、戦場、七居、宮ノ前、寺之前、前田
6	上ヶ市、瀬戸、荒神ノ前
7	上向

※ 小字地名は、大東町役場管掌の大字別『字切地図』

(明治22年編製)による悉皆地名である。

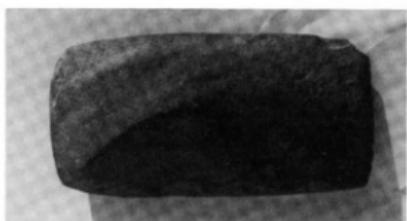
※ 異体字、旧字体等は、これを常用字体に統一した。

(例えば、迫・堀→迫、廣→広、崎→崎、)
〔万葉仮名→ひらがな〕

※判読できなかった字又は個所は〔 〕とした。

〔 地名はその土地の歴史そのものである。 〕
〔 次代へ継承したいもの 〕

川内神社遺跡



法雲寺遺跡



平床遺跡

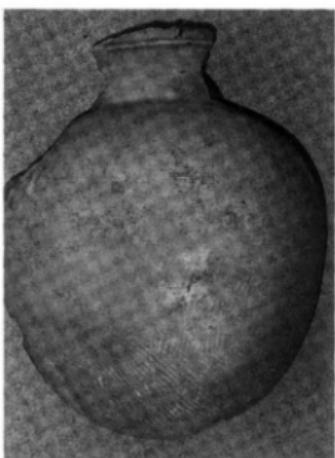


大多和遺跡

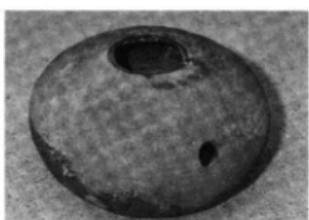


板屋原遺跡

稗迫古墳



稗迫古墳？







平床遺跡



下ノケ市遺跡



東ヶ谷製鉄跡（第二炉床）



高麻城跡



丸倉山城跡



岡田上著跡



法雲寺跡



鶴社下タ五輪塔



草尾坂古墓



大用寺の石塔



堂ノ脇上へ五輪塔



尺井五輪塔



天場古墓



一乗寺向の宝篋印塔



東福寺の宝篋印塔

西方寺の宝篋印塔

小丸子山古墓



詳細分布調査
大東町の遺跡 I
—春植・幡屋—

1989年3月

発行 大東町教育委員会
鳥根県大原郡大東町大字大東1673-1

印刷 曽田印刷
鳥根県大原郡大東町大字大東1017-1

